

# 第14回全国高校生英語ディベート大会 in 群馬 実施要項

## The 14<sup>th</sup> All Japan High School English Debate Tournament in Gunma

1. 主催 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)  
理事長 下屋 浩実 (飛騨学園理事長)
2. 主管 群馬県高等学校教育研究会英語部会  
会長 竹内 敏彦 (太田市立太田高等学校校長)
3. 特別協賛 GTEC (株式会社ベネッセコーポレーション)
4. 協力 共愛学園前橋国際大学 共愛学園中学校・高等学校
5. 後援 文部科学省 アメリカ合衆国大使館 全国英語教育研究団体連合会  
公益社団法人全国高等学校文化連盟 日本ディベート協会  
特定非営利活動法人全国教室ディベート連盟  
群馬県教育委員会 前橋観光コンベンション協会 群馬県観光物産国際協会  
(以上全て申請中)
6. 年間協賛 首都大学東京 神田外語学院・神田外語大学
7. 期 日 2019年12月25日(水)～26日(木)
8. 会 場 共愛学園前橋国際大学 共愛学園中学校・高等学校  
〒379-2192 群馬県前橋市小屋原町1154-4
9. 大会運営委員会 群馬県高等学校教育研究会英語部会  
委員長 倉林 高行 (群馬県立前橋女子高等学校教諭)
10. 審査委員会 一般社団法人 全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)  
理事・審査委員長 矢野 善郎 (中央大学教授)
11. 参加条件
  - ・日本の高等学校在学者または高等専門学校の3年まで、または中等教育学校の4年から6年に在学の生徒で本連盟の「メイク・フレンズ憲章」を厳守できる生徒。
  - ・英語のネイティブスピーカーは不可。
  - ・以下の海外生活経験者等の条件に該当する者はチームに2名以内：
    - (1)英語を第1言語とする国で12ヶ月以上滞在経験のある生徒 (就学前の滞在は不問)
    - (2)英語を第2言語とする国の出身である生徒 (就学前の滞在は不問)
    - (3)家庭で常用的に英語を使っている生徒ただし、該当生徒で各試合に出場できるのは1名以内 (試合ごとの変更は可能)。
12. チーム構成 1校1チーム。選手登録は4名から6名まで。  
各試合には4名が出場 (試合ごとにメンバーの入れ替えが可能)。  
※予選各試合のチェアパーソン(司会)は、原則として肯定側チームの所属校の1名が担当(登録メンバーである必要はない)。ただし登録選手が4名しかいないチームについては、大会運営委員会がチェアパーソン(地元高校生等)を補充。
13. ジャッジ派遣義務  
各参加校は、必ず1校1名、資格を満たしたジャッジの派遣が義務づけられる。  
(派遣費用は各校負担。ジャッジ資格の詳細についてはHEnDA HP等参照。  
顧問の兼任は可能) 大会初日12月25日(水)9:00に会場に集合。
14. 対戦方法 予選6試合の結果に基づき、上位4チームが決勝トーナメントへ進む。  
予選各試合はジャッジ2名が審査。決勝トーナメントは、3～5名が審査。

## 15. 論 題

**Resolved: That the Japanese government should limit the weekly maximum average working hours, including overtime, to 48 hours (following the EU)**

日本国は、残業も含めた週あたりの最長平均労働時間を、(EUにならい) 48 時間に制限すべきである。是か非か。

※ 付記事項等、詳細については、連盟 HP を参照のこと。

## 16. 日 程

12/25(水)	8:30～	受付	12/26(木)	8:00～	集合・受付
	10:00～	開会式		8:30～	予選第5試合
	11:20～	予選第1試合開始 (昼食)		10:30	予選第6試合 (昼食)
	13:00～	予選第2試合開始		12:15	予選結果発表
	15:00～	予選第3試合開始		12:30～	準決勝
	17:00～	予選第4試合開始		13:50～	決勝
	18:00～	交流会 (引率者会議同時開催)		15:00～	表彰式・閉会式
	19:30	解散予定		16:00	解散予定

## 17. 競技規則

競技は「大会ルール」「ジャッジ基準」に基づいて行います。  
「大会ルール」「ジャッジ基準」は連盟 HP を参照。

## 18. 大会参加申し込み

連盟 HP 上の申し込みフォームに必要なデータを入力し、お申し込みください。  
応募期間は10月1日(火)から11月13日(水)まで(必着)。

## 19. 全国大会出場校選抜手順

出場校の最大総数は原則64とする。

原則として都道府県大会の上位校を選抜する。都道府県大会に参加した学校数に応じて、全国大会出場枠を割り振る。したがって全国大会に出場するためには、原則として都道府県開催の大会に出場していることが条件となる。ただし、連盟の認定するブロック大会の優勝校には出場資格を与える。

選抜基準の詳細は連盟 HP 参照。

## 20. 登録費 1 チーム 25,000 円 (本大会の運営費として)

参加費 1 人 1,000 円

## 21. 表 彰

1 位に優勝旗、文部科学大臣賞 (申請中)、アメリカ合衆国大使館賞 (申請中)

1 位・2 位・3 位 (2 校) に賞状と賞品、5 位～8 位に賞状

最優秀ディベーター1 名に文部科学大臣賞 (申請中) と賞状と賞品

優秀ディベーター5 名に賞状と賞品

コンストラクティブ/アタック/ディフェンス/サマリー・スピーカーの各最優秀者1 名、優秀者3 名に賞状

成績優秀校に対し、国際ディベート大会等への派遣支援を行う(参加費、旅費の一部を支給)

メイクフレンズ賞に賞状

参加者全員に参加証と記念品

## 22. タイムキーパー公募

全国大会出場権を獲得できなかった学校や出場校の非登録メンバーから、タイムキーパーを公募する。ただし教員引率があり、本連盟の「メイク・フレンズ憲章」を厳守できる高校に限る(タイムキーパーの旅費、食事代も各校負担)。応募が多い場合は各都道府県大会の上位校から決定する。なお公募に関する締め切りは全国大会エントリーの締め切りに準ずる

### ■問い合わせ・連絡先

一般社団法人全国高校英語ディベート連盟 (HEnDA)

理事・事務局長 小林 隆徳 [coba@takanishi.ed.jp](mailto:coba@takanishi.ed.jp)

お問い合わせ: 連盟 HP ([henda.global](http://henda.global)) まで

# 資料

## ■試合形式

発言者	役割と内容	時間
A1	① 肯定側立論 (Advantage は2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
N4→A1	② 否定側質疑 (否定側N4からの質問に、肯定側A1が答える)	2分
N1	③ 否定側立論 (Disadvantage は2点まで出せる)	4分
	準備時間	1分
A4→N1	④ 肯定側質疑 (肯定側A4からの質問に、否定側N1が答える)	2分
	準備時間	2分
N2	⑤ 否定側アタック (肯定側の立論のみに対して)	3分
A3→N2	⑥ 否定側アタックへの質問 (肯定側A3からの質問に否定側N2が答える)	2分
A2	⑦ 肯定側アタック (否定側の立論のみに対して)	3分
N3→A2	⑧ 肯定側アタックへの質問 (否定側N3からの質問に肯定側A2が答える)	2分
	準備時間	2分
A3	⑨ 肯定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
N3	⑩ 否定側ディフェンス (アタックを受けた立論を再構築する)	3分
	準備時間	2分
A4	⑪ 肯定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分
N4	⑫ 否定側総括 (双方の議論を比較し総括する)	3分

計 42 分

## ■過去の大会の参加状況

大会	年度	参加都道府県	参加学校数	参加選手数	県予選参加校数	開催場所
プレ大会	2005	11 都県	26 校	160 名		岐阜大学 (岐阜県)
第1回	2006	17 都府県	38 校	208 名		岐阜聖徳学園大学 (岐阜県)
第2回	2007	22 都道府県	50 校	257 名		名古屋学院大学 (愛知県)
第3回	2008	24 都道府県	62 校	276 名		岐阜聖徳学園大学 (岐阜県)
第4回	2009	29 都道府県	64 校	295 名		東京国際大学 (埼玉県)
第5回	2010	29 都道府県	64 校	321 名		岐阜聖徳学園大学 (岐阜県)
第6回	2011	28 都道府県	64 校	357 名	181 校	金沢学院大学 (石川県)
第7回	2012	33 都道府県	64 校	345 名	226 校	千葉県立幕張総合高等学校 (千葉県)
第8回	2013	34 都道府県	64 校	369 名	242 校	松本大学 (長野県)
第9回	2014	38 都道府県	64 校	361 名	283 校	静岡文化芸術大学 (静岡県)
第10回	2015	36 都道府県	66 校 <small>10県記誌未詳</small>	380 名	280 校	岐阜聖徳学園大学 (岐阜県)
第11回	2016	37 都道県	64 校	367 名	309 校	常磐大学高等学校 (茨城県)
第12回	2017	37 都道県	64 校	369 名	312 校	東京国際大学 (埼玉県)
第13回	2018	40 都道府県	64 校	374 名	334 校	福井工業大学 (福井県)

## ■現在までの都道府県大会等の開催回数 (2018年12月現在、        は昨年度全国大会不出場)

北海道	10回	東京	22回	滋賀	11回	香川	
青森		神奈川	10回	京都	6回	愛媛	7回
岩手	6回	新潟	6回	大阪	10回	高知	18回
宮城		富山	8回	兵庫	12回	福岡	17回
秋田		石川	13回	奈良	1回	佐賀	13回
山形	5回	福井	11回	和歌山	7回	長崎	13回
福島	3回	山梨	3回	鳥取		大分	14回
茨城	8回	長野	26回	島根	6回	熊本	13回
栃木	10回	岐阜	17回	岡山	7回	宮崎	16回
群馬	6回	静岡	13回	広島	8回	鹿児島	21回
埼玉	13回	愛知	10回	山口	7回	沖縄	19回
千葉	10回	三重	5回	徳島			

関東ブロック大会5回、関西ブロック大会4回、甲信越ブロック大会4回、東海ブロック大会4回

北陸ブロック大会1回